

今回のテーマ

桃

～ dreamily ～

桃色はやさしい春の色。小金井市の花、桜もそんなほんのりやさしいピンク色です。

何かに夢中になったり、誰かに恋をしたり…。夢を見ているかのような、うっとりする気持ち。それはきっと、何かをがんばる原動力になるはず。

そんなピンク色の表紙の本を集めました。



『リアル・ファッション』

ソフィア・ベネット/著 西本かおる/訳
小学館/刊 2012年 [YA K 93/B]

ロンドンで暮らす少女ノニー。ファッションに夢中で、日々自分の思うおしゃれを追求していた。ある日、天才的ファッションセンスの少女クロウに出会う。彼女はアフリカからの難民で、家族と離れて暮らしている。クロウもまたファッションが大好きで、そしてすばらしいセンスと技術を持っていることに気づいたノニーは、親友2人と一緒に、クロウの服作りを支えるため動き出す。



『あこがれ』

川上未映子/著 新潮社/刊 2015年 [913.6/加加]

小学生の頃の、あの何とも言えない記憶。学校と家だけが世界のすべてだったあの頃を思い出すだけで、なんだか恥ずかしいような、けれど愛おしいような…。好きとも違う、恋とも違う、さまざまな“あこがれ”。少年・麦彦の視点で描かれる「ミス・アイスサンドイッチ」と少女・ヘガティの視点で描かれる「苺ジャムから苺をひけば」の2編を収録。



『拝啓パンクス不 Dead』

DEAR MR.PUNKS NOT DEAD

石川宏千花/作 くもん出版/刊 2020年 [YA K 913/イカ]

高1の晴己は、毎日生きるのに必死だ。ほとんど帰ってこない母親の代わりに、中2の弟・右哉との生活費のため、バイトを2つ掛け持ちしている。ギリギリの生活の中での心の支えは、親代わりのしんちゃんから教わったパンクロックと、いつか兄弟でバンドを組むという夢。「ここじゃないどこかに走って行ってしまいたくなる。そんなときは、弾く。」バンドなんて、贅沢だ。わかっている。「それでも、したい。いまはこれがしたい。」「パンクは、ここじゃないどこかにいたい人たちの歌だ。」



『板チョコ1枚から作るかわいいチョコレートのお菓子』

市販のお菓子で簡単に作れる本格チョコスイーツ

若山曜子/著 主婦の友社/刊 2012年 [596.6]

寒い季節になぜかチョコレートが食べたくなること、ありませんか？気軽に作れるチョコラスクから本格的なチョコレートケーキまで、チョコスイーツのレシピを紹介。スイーツづくりが不安なあなたも大丈夫！著者によると「チョコレートがおいしければ、たいていおいしく仕上がりますから、初心者向きのお菓子」なのだそう。ラッピングアイディアも載っているので、だれかにプレゼントするときの参考にも。



『恋って何ですか？』

27人がすすめる恋と愛の本

河出書房新社/編 蒼井ブルー/[ほか]著 河出書房新社/刊
2019年 [YA K 019]

恋ってどんなもの？小説家、俳優、アーティストなど職業も様々な27人が、人生で大切にしている「恋と愛の本」を紹介するブックガイド。恋で悩んだとき、恋をしてみたいとき、あなたの力になる一冊が見つかるかも。恋の正解は人それぞれ。恋愛に興味がないというあなたも、部活や好きな曲など夢中になっているものがあるなら、それも恋している状態と言えるのかもしれない。

YAひろば 開催報告



11/20 グルメ de トーク



グルメに関する本を紹介して語り合いました♪本の他にグルメマンガを紹介してくれる方もいました。読書会後は、ライスクッキーのデコレーションを行いました。初めてのアイシングを楽しんだり、チョコペンで顔を書いたり…。皆さんとってもすてきなクッキーができました！



12/18 私のイチオシ！



小説、絵本、マンガなど、ジャンルを問わず“自分が出会った中でイチオシ！”の作品を紹介しあいました。いつも以上におすすめトークに熱が入り、大好きな本に対するサポーターさんの熱い思いが伝わってきました！

サポーターさん作のPOPをつけ、図書館で紹介本の展示を行いました♪



完成したクッキー

